

じゃりみち

かわあ版

あ版

発行日 1996. 3. 29.

阪神大震災地元NGO救援連絡会議
仮設住宅支援連絡会

TEL: 078-362-5951 / FAX: 078-362-5957

E-mail: ngoream@mb.osaka.infoweb.or.jp

口座番号: 01180-6-68556 (郵便振替)

今回は「じゃりみち」と「かわあ版」が合同で事務所移転お知らせ・雲南情報をお届けします。

中国雲南省大地震緊急救援活動（第六報）

中国へ行って来たメンバーも無事に帰ってきました！ さっそく現地報告をします。

自力で家造る被災民

3月17日から3月23日までの訪中で、19日から2日間被災地である麗江を視察しました。一帯は農村地区で被害状況は家屋・学校の校舎の損壊が中心で、住民は自分達で損壊した家屋の側にバラック小屋を建てて避難生活を送っています（行政が用意した仮設住宅ではない）。麗江にももちろんビルはありましたが、神戸でよく見られた真ん中の階がつぶされるという現象はなく、このへんでは壁が崩れてしまった建物が多いようです。3・4階建てのビルも壁が崩れ落ち、室内がさらけ出されているというものがよく目につきました（このあたりの家の建築資材は、木の柱と土の煉瓦の壁でできている）。農家の被害も、家の壁が崩れ落ちているものがほとんどでした。

震災から一ヶ月がたっていましたが、自分達の家を自分達で建て直している姿に、阪神淡路で起きた地震後の復興形態との決定的な違いを感じました。男性が屋根に上がり家の修復をし、女性が洗濯や炊事を行っているという光景がそこにはありました。我々がなくしてしまったものが、そこには確実に息づいているようでした。

今回の中国雲南への訪問は色々な面で考えさせられる事が凝縮されていたような気がします。今後、この経験を元に、もう一度自分なりに神戸の今の現状を見直していけたらと思います。

(訪問団団員 鈴木隆太)

3月21日午後、あとから合流した副団長の増田さん（コープこうべ副組合長）と秘書長の草地を加え全員で雲南省人民政府を訪問しました。副省長と会談した際、私たち訪問団は2,000万円の義援金と13トンの救援物資の目録を手渡しました。そして団の意向としてとくに学校の再建の費用として義援金が使われれば嬉しいと伝えました。副省長は快諾して下さい、その場に同席していた省政府の高官に日本からのお金はその為だけに使おうとはっきり言って下さいました。

3月22日、団長、副団長、秘書長と書記の4人は他の4人の団員と別れて北京に出発しました。到着後直ちに北京中央政府外交部（外務省）を訪ね副大臣に、その後國務院僑務弁公室を訪ね寥日軍主任（大臣）と会談しました。僑務弁公室とは4,500万人ともいわれる海外の華僑担当の役所です。寥大臣は今回の救援活動が阪神大震災の被災地を中心に起こり、その中で神戸の華僑の人々と協力が生まれたというエピソードに強く関心を持って下さいました。さらに義援金を学校再建へという私たちの希望も大臣の思いと重なり、この話はいまは確定を見たと云えるでしょう。こうなると再建費用（約2,400万円）の不足分を何とか日本で補わねばなりません。現地の人々に送った義援金は約2,000万円。その内林団長の意向で約300万円は毛布・懐中電灯などの現地での物資購入に充てられ、既に配布されています。従って学校再建分は現在1,700万円が省政府に手渡されていますから、あと700万円ぐらいが募金の目標になるわけです。

省政府も中央政府も、9月の新学期に再建工事が完成するよう努力するので、その時にもう一度雲南を訪ねて開校式に出席するようにとの強いお招きを受けました。帰国直前の23日午前には宿舎に在北京日本大使館の方を迎え、私たちの一連の活動について懇談をしました。

(訪問団秘書長 草地賢一)

事務所移転のお知らせ

4月1日より「仮設住宅支援連絡会」は独立し、名称を「阪神・淡路大震災「仮設」支援NGO連絡会」と改めます！事務所も「阪神大震災地元NGO救援連絡会議」共々、高速長田駅・地下鉄長田駅より南に数分、SVA、すたあと長田の隣のプレハブに移転します！

新住所：〒653神戸市長田区御蔵通5-5

TEL 078-578-6921、6922 FAX 078-578-6923

尚、「外国人救援ネット」も4月1日より独立し、名称を「NGO外国人救援ネット」と改め、下記に事務所を構えることになりました。（電話番号は決まり次第お知らせします。当面は生活ネットの 078-232-1290へ）

〒650 神戸市中央区中山手通1-28-7

カトリック社会活動神戸センター内

じゃりみち編集部から

お米がまだ少しあります。
(30kgくらいが6箱)ご希望の方は事務局まで。

またふとん上下60組まだまだあります！これも事務局までお願いします。

じゃりみち発信についてですが人手不足のために切り替え作業がなかなか進んでいませんので、まだ少し手違いがあるかもしれません。ご了承下さい。